（家庭数）

令和6年6月 24 日
武蔵野市立井之頭小学校
かわせみ教室

# かわせみ教室通信

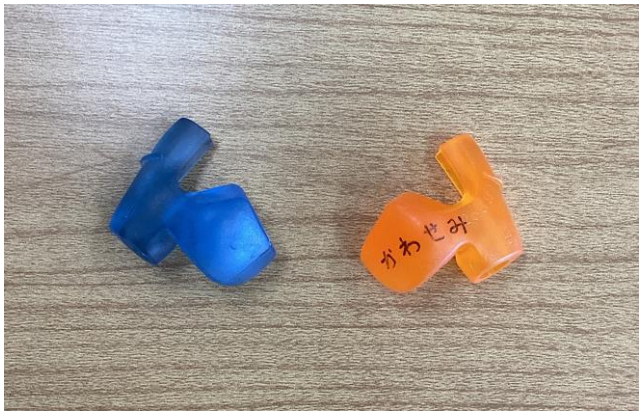
今回は、「鉛筆の正しい持ち方」についてかわせみ教室で行っている支援例を紹介します。お子さんの実態に合わせて、様々な教材を活用することは、学びの支援になり、「成功体験を増やし、自信を付ける」ための一助になります。ご参考にしていただき、お子さんの様子を見ながらご活用ください。

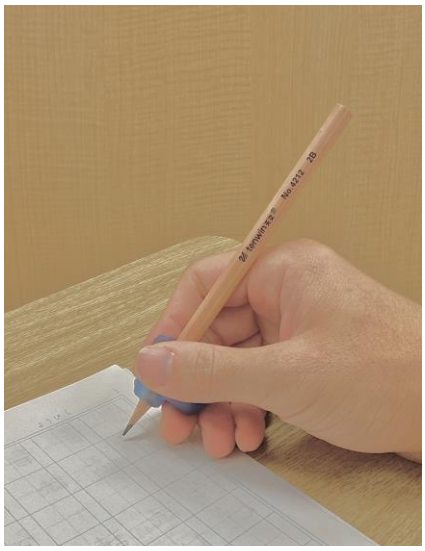
## 【鉛筆を正しく持つことで期待される効果】

・正しい姿勢が促され、集中して学習に向かいやすくなる。
・「とめ」「はね」「はらい」をコントロールしやすくなる。
・筆記スピードが向上する。
・腕、肩回り、手指に無駄な力が入らず、疲れにくくなる。

## 【かわせみ教室での支援例①】

### 鉛筆の正しい持ち方の補助具(右手用・左手用)



主に個別指導で、書字が苦手な児童に支援を行っています。補助具を使って書くことで「手の疲れが少なくなった！」「力を入れすぎなくても書ける！」など、書きやすさを実感する児童の様子が見られます。

## 【かわせみ教室での支援例②】

正しい位置で指を固定するために、輪ゴムを使った方法もあります。

指が先端の方へ滑らず、持つ位置が適切になることで、力が入りすぎず、疲れない書き方が身に付きます。
正しく持つ位置は、「芯先から 2.5cm あたり」「芯先から第一関節程度まで長さ」と言われています。

参考文献 ・笹田 哲「書字指導における体のみかた②」教育出版
・日本筆記具工業会「鉛筆のお役立ち情報」